

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。

## 日本脳炎ワクチンは入手しやすくなりました

日本脳炎ワクチンの出荷制限が2023年1月から解除されます。不足中はご希望の方の順番をお取りし、入荷が決まってからご連絡してきましたが、今後は通常のご予約でよくなります。

## 2023年4月から子宮頸がんワクチンの9価ワクチンが定期接種に

こちらは新・こどもと健康No.71でもお伝えした通りです。

## 2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に

2022年11月18日の厚生労働省の第41回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で、2023年4月から、現在生後3か月で開始している四種混合ワクチンを、生後2か月から開始することで承認されました。1か月前倒しすることで乳児の百日咳患者を年間100人減少できると見込まれています。四種混合ワクチンだけ遅いスタートだったので、この方が分かりやすいです。因みにアメリカ、イギリスでは既に生後2か月からを推奨しています。

出典：厚生労働省HP 第41回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会(2022年11月18日)資料2『沈降精製百日せきジフテリア破傷風混合ワクチン(DTaP)を含む混合ワクチン等の接種スケジュールの前倒しについて』

## 带状疱疹ワクチン『シングリックス®』の取り扱いを開始しています

～50歳以上が対象です～

種類	シングリックス® 不活化ワクチン	水痘ワクチン 生ワクチン
対象	50歳以上	带状疱疹予防:50歳以上 水痘予防:1歳以上
接種方法	筋肉注射	皮下注射
当科での費用 間隔	税込21,000円×2回で終了 2か月(遅くとも6か月)	1回分 税込7,140円 5年程度
带状疱疹の 発症予防効果	2回接種後平均7.1年 の全観察期間の 有効性90.9%(※1)	1年目:67.5% 2年目:47.2% 8年目:31.8%(※2)
副反応	多め:注射部位の局所症状80.8%(疼痛78.0%、発赤38.1%、腫脹25.9%など)、全身性64.8%(筋肉痛40.0%、疲労38.9%、頭痛32.6%など)	少なめ:注射部位の局所症状が主(発赤44.0%、掻痒感27.4%、熱感18.5%、腫脹17.0%など)。接種1～3週後に発熱、発疹、水疱性発疹が発現することがある。

水ぼうそうに罹ったことのある人は、治ってもウイルスが神経節に潜伏し、免疫が低下すると、带状疱疹を発症します。50歳代から発症率が高くなり、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。50歳以上で带状疱疹を発症した人のうち、約2割は3か月以上神経痛が続きます。左の2種類のワクチンがありますが、一方は効果は高いも、高価格、副反応が多め、もう一方はまだ安いも、中程度の効果と一長一短です。

※1: GSK HP『長期追跡期間における带状疱疹予防効果』

※2: Long-Term Effectiveness of the Live Zoster Vaccine in Preventing Shingles: A Cohort Study. Am J Epidemiol, 181(1): 161-9, 2018

出典: 带状疱疹予防.jp HP、GSK HP『シングリックス臨床成績・安全性情報』

## 6か月から4歳の乳幼児用コロナワクチン受付はまもなく一旦停止に

特定の水曜の午後1時からの予防接種枠後に接種をしていますが、現在のワクチン事業が3月31日までのため、3回の接種を終わらせるには、1回目は1月13日が限界日となります。

## 5歳から11歳の小児用コロナワクチンの1・2・3回目受付中

特定の土曜に接種をしています。お電話か受付でご予約ください。こちらは12歳以上とは違い、従来型のファイザーワクチンで、2・3回目の間隔は5か月以上のままです。

## 12歳以上の2価コロナワクチンは1月12日から28日分まで受付中

1月12日(木)から28日(土)接種分の受付を再開しています。

お電話(072-297-7771)なら当科診療日の午前9～12時に、ネット予約なら24時間 <https://www.shujii.com/2977771/i/> で受付中です。



# 大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

あかさわ小児科  
の現在の体制

感冒症状の**全くない方**専用  
午前診 9:00～10:30  
夕方診 17:00～17:30

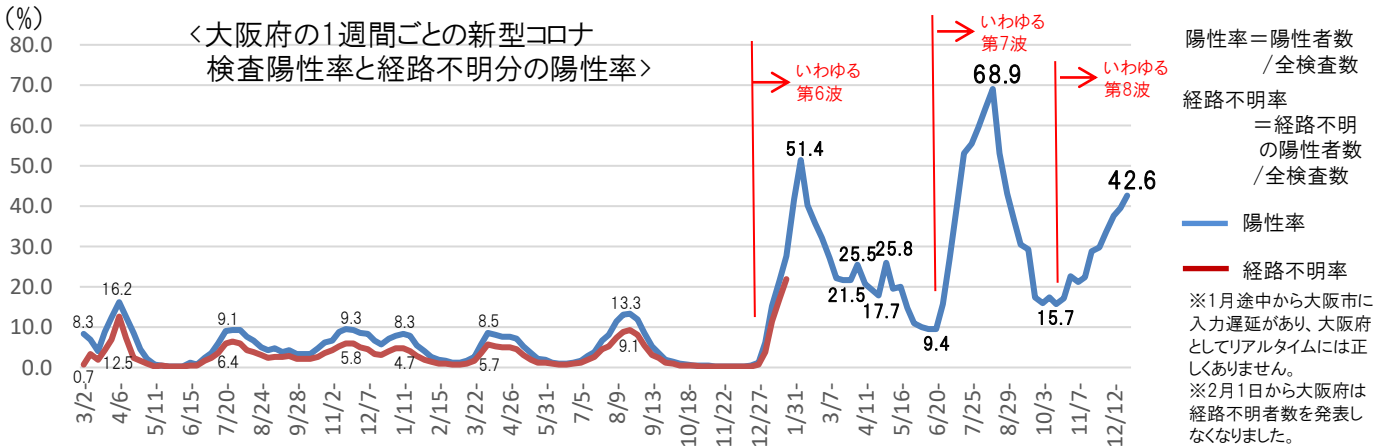
全く感冒症状のない方は、乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症などを指します。

## 当科のコロナ抗原検査の陽性率

検査日	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率
2/2~5	10	3	0	30%
2/7~12	21	10	4	56%
2/14~19	11	4	0	36%
2/21~26	5	3	0	60%
2/28~3/5	21	13	1	64%
3/7~12	14	4	3	41%
3/14~19	14	6	2	50%
3/21~26	13	6	1	50%
3/28~4/2	10	0	0	0%
4/4~9	9	1	0	11%
4/11~16	18	2	0	11%
4/18~23	14	3	0	21%
4/25~30	21	7	3	42%
5/2~7	9	1	0	11%
5/9~14	18	2	2	20%
5/16~21	10	1	2	25%
5/23~28	14	3	0	21%
5/30~6/4	8	0	0	0%
6/6~11	9	1	0	11%
6/13~18	3	0	0	0%
6/20~25	10	1	0	10%
6/27~7/2	8	1	0	13%
7/4~9	11	4	1	42%
7/11~16	31	14	0	45%
7/19~23	36	13	0	36%
7/25~30	47	13	6	36%
8/1~6	23	12	4	65%
8/8~10	15	6	3	50%
8/16~20	20	11	6	59%
8/22~27	27	8	2	34%
8/29~9/3	10	4	2	50%
9/5~10	18	3	2	25%
9/12~17	26	3	1	15%
9/20~24	7	2	1	38%
9/26~10/2	23	6	1	29%
10/3~8	17	3	0	18%
10/11~15	16	3	0	19%
10/17~22	18	4	0	22%
10/24~29	11	1	0	9%
10/31~11/6	11	0	0	0%
11/7~12	14	2	0	14%
11/14~19	10	3	0	30%
11/21~26	19	1	0	5%
11/27~12/4	18	5	0	28%
12/5~12/10	14	3	0	21%
12/12~12/17	19	3	0	16%
12/19~12/24	17	6	0	35%
12/26~12/28	7	1	0	14%
計、平均	755	206	47	32%

当科での週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。第8波としましては、第7波のような強いピークはなく、だらだらと陽性者が出ている感じです。

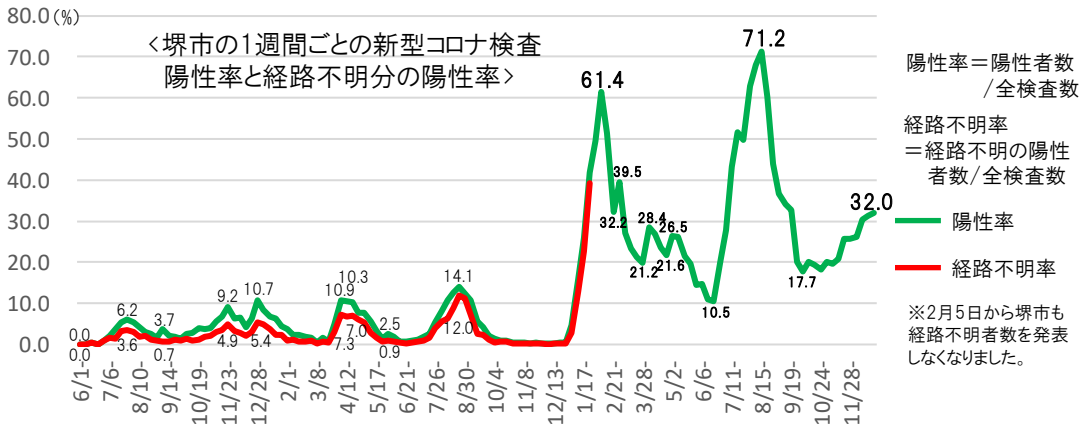
## 大阪府のコロナ陽性率、悪化中



大阪府の新型コロナ検査陽性率は10月17日から23日の週に15.7%まで下がったあと、悪化していき、12月26日から1月1日の週に42.6%になっています。大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2023/1/1』

## 堺市のコロナ陽性率も悪化中

堺市の陽性率は2022年10月3日から9日の週に17.7%まで低下し、小康状態のあと、大阪府程ではないですが、12月26日から1月1日の週は32.0%までじわりと悪化してきています。



出典: 堺市危機管理室 Twitter  
最終更新 2023/1/1

1月・担当医の変更  
7日(土) 片桐→赤澤  
24日(火) 赤澤→片桐